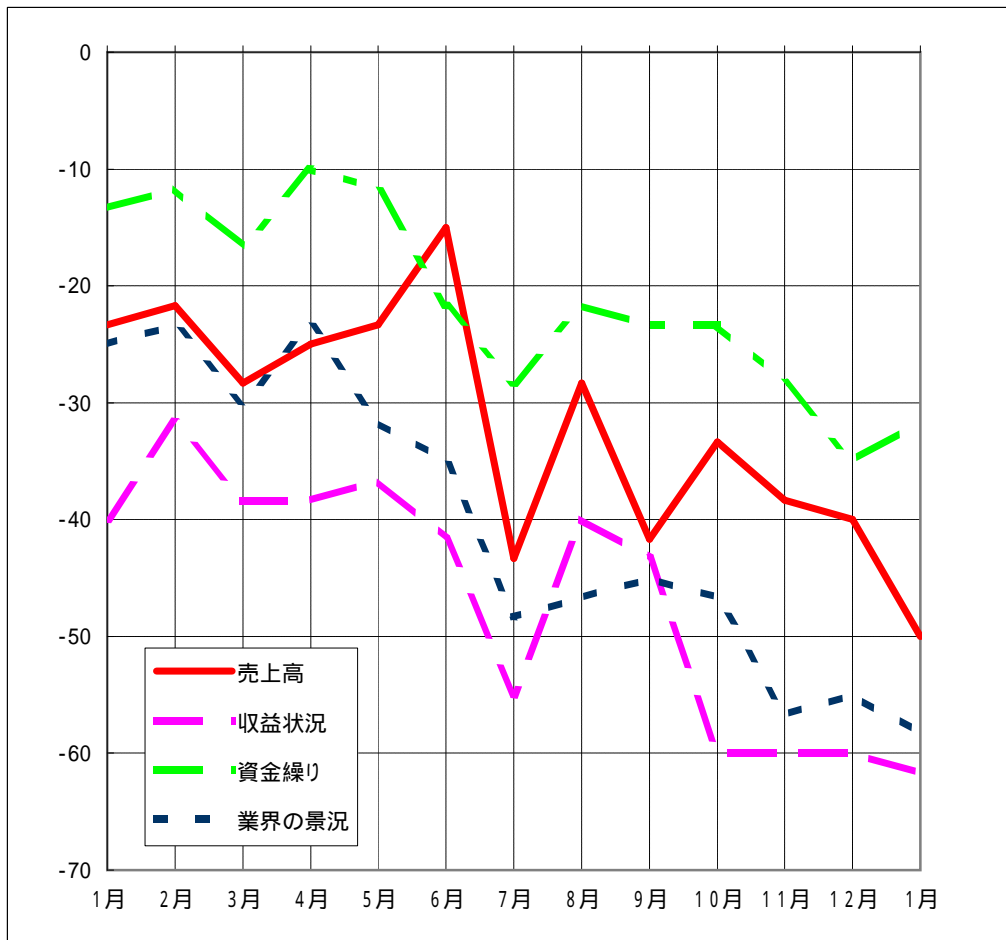


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成19年1月～平成20年1月

単位:ポイント



H19

H20

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
売上高	-23.3	-21.7	-28.3	-25.0	-23.3	-15.0	-43.3	-28.3	-41.7	-33.3	-38.3	-40.0	-50.0
収益状況	-40.0	-31.7	-38.3	-38.3	-36.7	-41.7	-55.0	-40.0	-43.3	-60.0	-60.0	-60.0	-61.7
資金繰り	-13.3	-11.7	-16.7	-10.0	-11.7	-21.7	-28.3	-21.7	-23.3	-23.3	-28.3	-35.0	-31.7
業界の景況	-25.0	-23.3	-30.0	-23.3	-31.7	-35.0	-48.3	-46.7	-45.0	-46.7	-56.7	-55.0	-58.3

依然として厳しい状況にある原材料価格及び原油価格の高値推移により、1月のDI値は前年同月より全項目で悪化した。「売上高」DIは前年同月より26.7ポイントの悪化で、マイナス50.0となり、厳しさが増している。「収益状況」DIにおいても、21.7ポイントの悪化で、マイナス60%台に推移。「資金繰り」DIは、18.4ポイントの悪化で、マイナス30%台に推移した。「業界の景況」DIは前年同月より33.3ポイント悪化し、マイナス50%台となっており、ここ3カ月の景況は、「収益状況」、「業界の景況」で低位横這い状態が続き、回復傾向が全く見られず厳しい状況にある。

組合の特記事項からは、製造業では、依然として続いている原材料費の高値推移等により、経費負担がより増大し、価格改定もやむを得ないとする報告が見られた。

非製造業では、原油価格の高値推移による燃料費の増・輸送コストの増、個人消費の低迷などから、引き続き厳しい状況となっている。

また、建築基準法の改正による影響についても、製造業・非製造業ともに引き続き報告されており、今後の動向が懸念される。